

▲使用上の注意▲

▲※電圧設定(12V車→12Vモード/24V車→24Vモード)を絶対に間違えないでください。本体及び車両故障に至る場合があります。

▲警告 この表示内容を見逃し、誤った使い方をすると、死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

- 使用前には、必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから安全にお使いいただけますようお願い致します。記載されている使用方法以外では、絶対に使用しないでください。
- 電圧設定(12V車→12Vモード/24V車→24Vモード)を絶対に間違えないでください。本体及び車両故障に至る場合があります。
- 車両のバッテリー位置などによっては、本製品を使用することが困難な場合がありますので、本製品使用前には必ず車両の取扱説明書をよく確認してください。
- 不測の事態を避けるためにも、本製品使用中は絶対に本製品や車両から離れないでください。
- 作業中に、万が一バッテリー液が身体に付着した場合は、清潔な水で速やかに洗い流してください。
- 本製品使用の際は、ファン・ベルト・プーリー等にケーブルが巻き込まれないよう、十分注意してください。
- 安全のため、本製品使用前には必ずサイドブレーキを引き、ギアをパーキングにしてください。マニュアル車の場合はギアをニュートラルにしてください。
- 本製品の分解・改造はしないでください。
- 可燃性の液体(ガソリン等)やガスのある場所では絶対に使用しないでください。
- 作業中は必ず換気をし、作業場の換気を良くしてください。
- 安全のため、作業に適した服装で作業を行ってください。
- ジャンプスタート出力中は、プラス側のケーブルをマイナス端子に接触させないでください。接触させるとショートして火花が発生します。
- 本製品は電圧設定切替時(24Vモード→12Vモード)に、内蔵の放電回路によって電圧を調整します。調整中は本体が高温になりますのでご注意ください。
- 高温・直射日光下では使用しないでください。また、作業中に周辺温度が60℃以上にならないよう注意してください。
- 本製品は精密な電子回路を内蔵しております。ぶつけたり、落としたりしないよう取扱いには十分注意してください。
- 使用しない場合は子供の手の届かない場所、又は施錠のできる場所に保管してください。また、子供や幼児の手の届くところで使用しないでください。
- 作業以外、本体や各アダプターに触れないでください。
- 各アダプターを乱暴に扱ったり、引っ張って電源から抜いたりしないでください。
- 本体が異常に熱くなったり、その他異常を感じた場合は、速やかに使用を中止してください。
- 本製品を使用する前に、必ずクランプやケーブル、各部に異常がないかを確認してから作業を行ってください。
- 誤った使用方法により、商品が破損・人体への損傷・物品等への損害が生じた場合、一切の保証、ならびに責務は無効となります。

▲注意 この表示内容を見逃し、誤った使い方をすると、人的障害及び製品の故障やその他物的損害に結びつく可能性があります。

- 車両バッテリーが、過放電、または劣化した状態である場合は、本製品を使用することができません。
- 本製品は、車載バッテリーの代替品ではありません。車載バッテリーを外し、本製品のみでエンジンを始動させることはできません。
- 本製品は緊急用です。慢性的にバッテリー上がりを起こしている車両は、その原因を解決し、修理等を行ってください。
- 初回使用前には、必ず満充電を行ってください。
- 本製品を保管する際は、クランプ・ケーブルを元の位置に戻し、常温で清潔な場所に保管してください。
- 高温・多湿・ホコリが多い場所や振動のある場所では保管しないでください。
- 本製品を使用中は、ケーブル・本体などを動かさないでください。また、本製品を安定した場所に置いて使用してください。
- 本製品の使用範囲内であっても、車両の状態や状況によっては、本製品を使用することが出来ない場合があります。
- 専用のDC12/24Vアダプター・ブースターケーブル以外の使用での蓄電はしないでください。
- ブースターケーブルで蓄電中にシガーソケットでの同時蓄電をしないでください。本体故障の原因となります。
- 使用目的以外では、使用しないでください。
- 誤った取付け、分解、改造等による本製品の保証は一切負いかねます。
- 本製品は雨や湿った状態で使用しないでください。本製品の機能が影響を受ける事があります。
- 本製品は常に安全でしっかりした状態にある事を確認してください。
- 本製品は子供の手の届かない場所に保管してください。
- 本製品は身体や精神に障害のある人(子供を含む)及び経験、知識の乏しい人が指導又は監督されていない状態で使用する様には設計されていません。子供が本器で遊ばない様に十分気をつけてください。
- 20℃以下で保管した場合、本体の液晶表示部分が低温により適正表示が出来なくなる場合があります。

保証規定

1. 保証期間
製品の購入日より1年間となります。
本書および購入証明書(販売店のレシート)をもって保証の適用とさせていただきますので大切に保管いただきますようお願い致します。

2. 無償修理既定
取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に従った正常な使用のもとで保証期間中に故障が発生した場合に無償修理対応を致します。
保証の対象は製品単体のみとなります。付属品は初期不良のみの対象となりますのでご了承ください。
保証期間内であっても以下の項目に該当する場合は保証対象外となります。
■本製品の取扱説明書に記載された使用方法及び注意事項に反する取扱いにより生じた故障の場合。
■お買い上げ後の落下・水没・衝撃、悪条件での放置など不適当なお取扱いによって生じた故障の場合。
■弊社以外で分解・改造・調整・部品交換がされた場合。
■火災・地震・水害・落雷・その他の天災や異常電圧等による故障・破損の場合。
■本書および購入証明書の提示がない場合。
■譲渡品、転売品、中古品(オークション購入等を含む)の場合。

3. 無償修理お申し込み方法
保証期間内に無償修理を受けられる場合は、本書および購入証明書を製品に添えて、ご購入いただいた販売店にご依頼ください。

4. 輸送にかかる費用
修理にかかる輸送費用について、弊社まで及び販売店窓口までの費用はお客様にご負担いただいております。弊社からお客様もしくは販売店窓口までの返却費用は、弊社が負担申し上げます。

5. 免責事項
本製品の故障や障害、その使用によって生じた直接的・間接的な損害、金銭的損害につき、弊社は一切責任を負いません。
ブースターケーブル・リモートコントロールユニット・DC充電ケーブル等は初期不良のみの対応とさせていただきます。破損した場合は補修パーツをご購入ください。

※ご注意※
万一、弊社の製造上の原因による故障が生じた場合、保証規定に基づき無償修理、交換を致します。

品番	SBR-1224
お買い上げ日	
お名前	
ご住所	
電話番号	
販売店の住所/電話番号	
レシート貼り付け	

弊社では、お客様の個人情報を本製品の保証以外の目的で使用する事はありません。

お問い合わせ先 **オールマイティ株式会社**

〒136-0021 東京都墨田区緑 3-11-11 1F
TEL 03-6659-6595 FAX 03-6659-6597

SBR1224M20240126

SUPER Battery Rescue
JUMP STARTER

SBR-1224 取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください

この度は弊社製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。
この取扱説明書は保証書も兼ねていますので大切に保管してください。

- 使用する製品の説明書をよく読み、注意事項を守って作業してください。
- クランプやケーブルに損傷がないか確認してください。
- 本製品は 12V 乗用車 6000cc ガソリン車・3000cc ディーゼル車まで、24V 車 13000cc までの適応です。適応内でも車両の状態によっては始動できない可能性があります。

使い方動画はこちら!



各名称 / 機能

持ちやすい / フックにかけやすい持ち手

電圧がわかる電子表示

電圧確認ランプ

12V/24V 切替スイッチ

セレクトスイッチ

DC12/24V アダプター 差込み口

スピーカー

リモートコントローラー 差込み口

ブースターケーブル 差込み口

SBR-1224 取扱説明動画



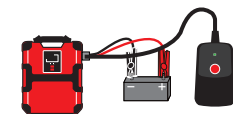
セット内容



リモコンの使用方法

～セルフチャージまたは外部より蓄電された後～ 基本的な使用方法は裏面をご確認ください

①本体のリモートコントローラー差し込み口につないで運転席に移動します。

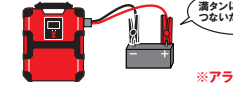


その際、緑ランプ点灯を確認します。
(消灯している場合はリモコンのスイッチを一度押しと本体の電源が入ります。)

②スイッチを押して速やかにセルを回す / エンジンスタートボタンを押します。(アラーム音がなります)



③補蓄電して完了



満タンになるまでつないだまま待つ
補蓄電後は約 15 時間の間セルフチャージ / 外部より蓄電させる必要なくご使用いただけます

※アラーム音作動中にクランプを絶対に外さないでください。(ショート対策)

製品仕様

品番	SBR-1224
最大出力	12V 900A 24V 1200A
始動可能範囲	12V 車 6000cc までガソリン車 / 3000cc までのディーゼル車 24V 車 13000cc までのディーゼル車
動作 / 保管温度	-20℃ ~ 60℃ (コンデンサーの出力可能温度は -40℃ ですが本体の液晶ディスプレイが -20℃ で表示が不安定になる為)
ブースターケーブル長さ	1m (脱着式)
その他の機能	接続したバッテリーの電圧表示機能 蓄電残量表示 ①ブースターケーブル逆接続時出力停止回路 ②過電圧保護回路 ③過放電保護回路 ④本体温度 60℃ 以上で作動停止回路
搭載安全回路	
保証期間	製品購入後 1 年間 安心の国内修理対応可能
本体重量	4.84kg
サイズ	W296mm×H420mm×D99mm
生産国	中国

救援車両のバッテリーにつないだ時の状態によって下記の始動方法で始動できます。

A. セルフチャージ (つないだまま)

■12V 救援車両のバッテリーが 8V 以上の場合
セルフチャージ (8V→14V に昇圧・約 2 分以内) して始動可能になります。

■24V 救援車両のバッテリーが 16V 以上の場合
セルフチャージ (16V→26V に昇圧・約 6 分以内) して始動可能になります。



各モードを上記にある電圧以上のバッテリーから蓄電してください。

B. 外部蓄電 (それ以外からの蓄電)

救援車両のバッテリーが 8V (12V 車)、16V (24V 車) 以下の場合
下記の 2 通りの接続方法があります。

① 8V 以上のバッテリーにつないで
12V モード…2分
24V モード…6分
以内で蓄電



外部蓄電する場合の車両はなるべくエンジンをかけて蓄電してください。

② 正常な車両の DC シガーソケットにつないで
12V モード…3分
24V モード…10分
以内で蓄電

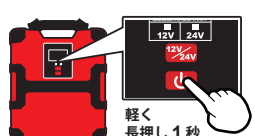


シガーソケットの形状が特殊な場合、蓄電できないことがあります。分岐ケーブルは使用しないでください。

ジャンプスタート使用方法

ご使用前に 接続するバッテリーターミナル部をワイヤーブラシ等できれいに清掃してください。救援車両のライト/エアコン等の電装品は全て OFF にしてください。

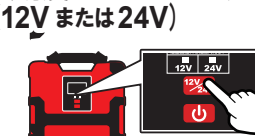
STEP1 電源を入れる



軽く長押し 1 秒

セレクトスイッチを 1 秒長押ししてください。

STEP2 救援車両の電圧に合わせてモードを設定 (12V または 24V)



12V/24V 切替えスイッチを 5 秒長押ししてください。

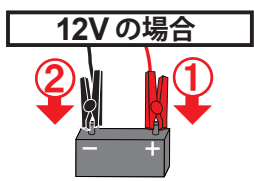
軽く長押し 5 秒

12V モード 24V モード

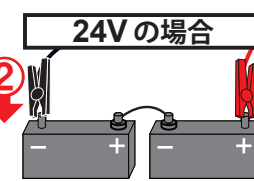
※24V モード使用後、すぐに 12V モードで使用する場合は、本体に蓄電している 24V 電圧を 12V まで下げる為、内部放電します。放電中は 12V 表示上の赤ランプが点滅しますので、赤点灯が変わるまでお待ちください。(約 15 分)

STEP3 救援車両のバッテリー状態を確認
救援バッテリーにブースターケーブルをつないでください。

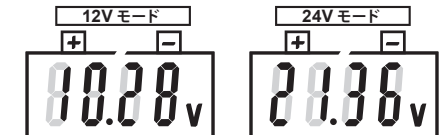
12V の場合



24V の場合



STEP4 電圧を確認



つないだバッテリーの電圧が表示される

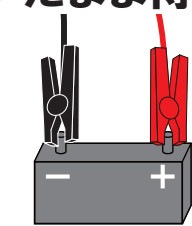
※救援バッテリーが 5V 以下の場合、ブースターケーブルをつないでも電圧表示がされません。その場合、セレクトスイッチを押して画面表示させてください。(それでも表示されない場合は、外部蓄電をしてください。)

※必ず車両に適した電圧を確認の上、本体の電圧設定を行い設定した電圧 (12V または 24V) 通りにケーブルをつないで作業を行ってください。電圧設定を間違えて始動させると、本体及び車輛故障に繋がる場合があります。

8V 以上 **8V 以下**

セルフチャージ

STEP5 つないだまま待つ



救援バッテリーにつないだまま待ち、電気を蓄えます。

※24V モード時、8V 以上で蓄電可能です (推奨は 16V 以上) 最低電圧付近では、電圧が不安定となり、蓄電がすすまない場合があります。その場合は外部蓄電をしてください

外部より蓄電

STEP5 一度外して蓄電させる
一度本体の電源を落とし、(スイッチ長押し) 救援バッテリーからブースターケーブルを取り外します。

① 他車のバッテリー



② DCシガーソケット



のどちらかにつないで蓄電します。接続すると自動で行います。

蓄電が完了すると **STANDBY** マークが点灯します。

※STANDBY マークは 80% 充電でも表示されます。そのまま使用することも可能ですが、満充電での使用をお勧めします。

※ブースターケーブルで蓄電中にシガーソケットでの同時蓄電をしないでください。本体内部の回路が破損します。



点灯する 蓄電が終わったら消える

STEP6 ジャンプスタート



セレクトスイッチを押して、START モードにしアラーム音が鳴ったら速やかに*1 セルを回す/エンジンスターボタンを押します。

セルマーク表示が点灯に変わります

※1 救援バッテリーが 12V 車: 10V 以下または 24V 車: 20V 以下と過度に低下している場合、本体からの始動電流がエンジンを始動させる前に救援バッテリーに吸収されてしまう可能性があります。吸収されてしまった場合、再度本体を蓄電しエンジンスターボタンを押してください。

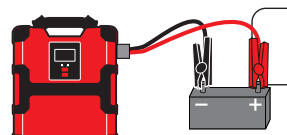
STEP7 補蓄電

エンジン始動成功後、補蓄電を自動的に開始します。(補蓄電時間: 約 2 分以内)

アラーム音が止まるまで、そのままつないだ状態で待ちます。
アラーム音が止まったらケーブルを外して作業終了です。

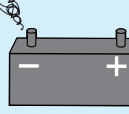
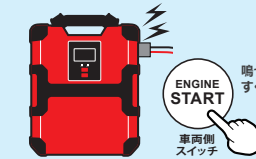
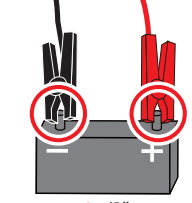
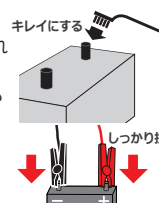
※電源はその後自動で切れます。
※アラーム音作動中にクランプを絶対に外さないでください。(ショート対策)

補蓄電すると約 15 時間の間、電気を本体に蓄えておくことが可能です。



失敗例と対策

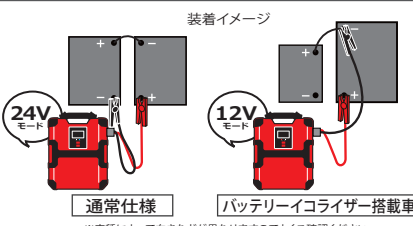
ジャンプスタートできない場合

失敗例	対策
<p>エンジン・バッテリーのコンディションが悪い</p> <p>救援車両のエンジン/バッテリーのコンディションによって始動できない場合があります。車両側の点火系のトラブル / 燃料供給トラブル / バッテリーの物理的不良等の場合、セルモーターが作動しない、セルモーターが作動してもエンジンが始動できないことがあります。また、本製品はエンジン始動電流を一気に放出させる特性がある為、出力タイミングとエンジン始動のタイミングが合わないと始動できません。</p> 	<p>この場合は、複数回ジャンプスタートを試みてください。(目安 5 回)</p> <p>アラーム音が鳴ったらなるべく早くエンジンをスタートさせてください</p>  <p>鳴ったらすぐかける</p> <p>車両側スイッチ</p>
<p>接続する接点が不十分</p> <p>バッテリーターミナルとブースターケーブルの接点が不十分な場合、始動する為の電流が十分に送られずに始動できないことがあります。</p>  <p>○の部分</p>	<p>必ず作業前に、</p> <p>①ブースターケーブルと接続する車両側ターミナル部分の汚れ(グリス・埃・酸化)をワイヤーブラシなどで取り除いてから接続してください。ターミナルがきれいな場合でも接点を磨く事をお試しください。</p> <p>②ブースターケーブルを接続する際は、クランプと車両側ターミナル部との接触面積(通電面積)がなるべく多く取れる様に取り付けてください。</p>  <p>キレイにする</p> <p>しっかり挟む</p>
<p>古いディーゼル車でジャンプスタートできない</p> <p>ディーゼル車では、グロープラグを温める為に電気を吸収し、始動に至らないことがあります。</p>	<p>この場合は、複数回ジャンプスタートを試みてください。(目安 5 回)</p>

特殊車両情報 三菱ふそうキャンター「バッテリーイコライザー搭載車」について

「三菱ふそうキャンター」で通常のバッテリー 12V×2 台搭載 (=24V) 仕様で両方のバッテリーを使ってジャンプスタートさせる「通常仕様」の他に、2 台搭載しているうちの片側のみ (=12V) のバッテリーにつないでジャンプスタートさせる「バッテリーイコライザー搭載車」が存在します。この車種で作業をする場合は、該当車両がどちらの仕様かを確認の上「通常仕様→24Vモード」「バッテリーイコライザー搭載車→12Vモード」に設定してご使用ください。

※「バッテリーイコライザー搭載車」とは 2 台のバッテリーを「バッテリーイコライザー」という装置で搭載している 2 台のバッテリーを電気機器の電圧に合わせて、電圧を切り替えて使用しています。ブースターケーブルの接続方法も車両のマニュアルを確認して正しいつなぎ方で作業してください。

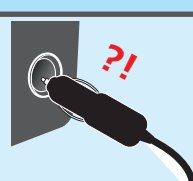
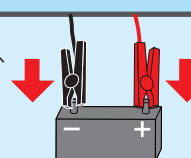

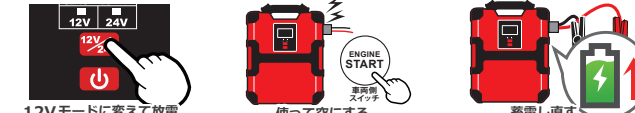


装着イメージ

通常仕様 バッテリーイコライザー搭載車

※車種によって向きなどが異なりますのでよくご確認ください。

SBR本体に蓄電できない / 蓄電が進まない場合

失敗例	対策
<p>DC充電ケーブルを使用した際に本体に蓄電できない / 進まない</p> <p>車両側に SBR 本体が要求する電力を制御する安全回路が搭載されている場合、蓄電できない・もしくは蓄電が進まないことがあります。</p> 	<p>DC充電ケーブルで蓄電ができない・進まない場合は、ブースターケーブルを使用して直接バッテリーから蓄電してください。</p> 
<p>SBR本体に満蓄電できない(メモリが最後まで上がらない)</p> <p>SBR本体に蓄電する際は使用頻度により、まれに満蓄電できなくなる場合があります。これは内蔵しているコンデンサー間のバランスが悪くなった場合に発生します。特に 12V モードは満蓄電されても 24V モード時は 3メモリ以上上がらない現象がある場合、コンデンサー間のバランス不良の可能性がります。</p> 	<p>この場合は、12V モードまで電圧を落とし、更にそこから 12V の車両でジャンプスタート作業をして SBR 本体のコンデンサーを 1 度なるべく放電し、バッテリーにつないで再蓄電を試みてください。</p>  <p>12V モードに変えて放電 使って空にする 蓄電し直す</p>

警告アラームについて

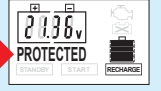

SBR-1224 は下記の状態になると、警告アラームとともに液晶パネルに **PROTECTED** と表示されます。

警告アラーム/PROTECTED 表示が作動するケース

- ①極性間違いの場合 (バッテリーのプラス / マイナスを間違えてつないだ場合) ※ジャンプスタート出力中は安全回路が働かないのでご注意ください。
- ②本体が異常出力した場合 (車両側の要求電流が本体の最大出力を超えた場合)
- ③外部から異常電圧 (サージ) が入った場合 (車両発電中で発生した異常電圧が入った場合)

警告アラーム・PROTECTED 表示は電気を SBR 本体の中の安全回路内で吸収し復元するので、通常は 1 度電源を OFF にしてしばらく放置して頂くと復元するのですが、大きなサージ電圧が入った場合等に安全回路内で処理ができず故障した場合は、電源スイッチを切ろうとしてもアラームが鳴り続けてしまいます。

この場合、アラームスピーカーの出口を塞ぎ、アラームが鳴りやむまで作動させ続けてください。鳴りやんだのを確認後、検査の為弊社までお送りください。

フタを閉じて放置 (音が少し小さくなります)